
青い教室

田中1号

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青い教室

【著者名】

田中一號

【データ】

N2189Z

【あらすじ】

19歳の平凡な学生がある日事故に遭ってしまう。
しかし、田を覚ました場所は自分が卒業したはずの学校だった。

非日常的な学園ストーリー

…になる予定（笑）

HULローグ（前書き）

初めまして。

まずはこの小説に足を運んでください、ありがとうございます。

この小説は、私、田中一郎が

「ん~なんかカツコいい趣味ないかなー。あ、小説執筆とかカツコ
よくね?」

と考え、ざかざかと書いたいわゆる駄作でござります。

「そんなんできとーなもん読めるか!」

「なにふざけてんの?ウザ。」

などとお思いになられるかたは、速やかにお帰りトセコマセ。

以上のことを踏まえたうえで、私の小説をお読みください。まあよつ
お願い致します。

(田中一郎)

Hプローグ

肌をさすような寒さ。

今年は例年よりも冬の訪れは遅いといつけれど、去年よりもずっと
寒いのではないだろうか。

街の人々も皆暖かそうな服装で、もうすぐクリスマスだからなのか、
色とりどりのイルミネーションが街を飾る。

実家を離れて約1年。

やつと都会に慣れてきたように思うが、やはりここまで街が明るい
と違和感を感じてしまうのだから慣れていないのかもしれない。1
0代最後の冬は俺の財布の中も、人間関係も、何もかもを冷やして
いくんだろう。

そんな「じぱずかしい」ことを考えながら、俺はボーッとしていたの
だろう。

信号が赤になつていてことに気付かなかつた。
自分がゆっくりと宙を舞うのがわかつた。

不思議と痛みは感じられない。

なぜか冷静にああ、俺はもう死ぬのか…と考えていた。

そして、ゆづくと意識を手放した。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2189z/>

青い教室

2011年12月7日22時47分発行